

飼ってしまったから「こんなはずじゃなかった」とあわてても間に合いません。飼う前に、次の10のポイントについて考えてみましょう。

住居環境

あなたの住まいがペットを飼える住居であることは、必要不可欠です。集合住宅の多くは、ペット飼養が禁止されています。最近はペット飼養可のマンションなども増えてきていますが、その場合でも、規約で飼えるペットの種類、大きさ、頭数などが定められていることがほとんどです。様々な住民がいる集合住宅は、飼い主のマナーと社会性が厳しく問われます。「こっそり飼ってしまおう」、「みんなやっているから」などと自分勝手にルールを無視したり、近隣に迷惑をかけることは慎んでください。

借家や社宅などの場合は、所有者の許可が必要です。持ち家の場合でも、広さや家屋の状態に合わせてペットの種類や数を考えなくてはなりません。

今の住居がペットを飼える環境だとしても、転居や転勤の予定があるなら慎重な判断が必要です。

ポイント1

- あなたの住まいはペットを飼える住居ですか？ 転居や転勤の予定はありませんか？



ライフスタイル

あなたはどんなライフスタイルを持ち、どんな目的でペットを飼うのでしょうか。

ペットと一緒にキャンプに出かけたりアウトドアを楽しみたい人には、陽気な大型犬が素敵なパートナーになるかもしれませんが、家の中でペットの愛らしい仕草を眺めたりふれあいを楽しみたい人には、ねこがいいかもしれません。

ペットは種によって生態や必要な世話が大きく異なりますし、犬やねこのように人が時間をかけて目的別に多くの品種を作り出してきたペットでは、品種によっても大きく違ってきます。

見た目やイメージに惑わされることなく、そのペットの種類・品種の特性をよく理解して、自分のライフスタイルと目的に合っているか、冷静に判断してください。

ポイント2

- あなたの飼いたいペットは、あなたのライフスタイルに合っていますか？



シベリアン・ハスキーは、犬種を引いて雪の中を何十キロも走るために作られた犬種ですから、大型で力が強く、走ることが大好きで大量の運動を必要とします。寒さに強い反面、暑さには弱く、暖かい地方では夏はクーラーが欠かせません。はじめから、住宅密集地で一般家庭が飼うには向いていない犬種であることは明らかでした。あの時、シベリアン・ハスキーを飼おうと考えた人が、本当に自分のライフスタイルにあった犬種なのか、冷静になってよく考えていけば、天寿を全うすることなく消えていった多くの命が救われたはずなのです。

シベリアン・ハスキーの悲劇

column